

学校・家庭・地域で子どもを育てる！

～学校生活を豊かにする学社融合の推進～ ～地域の環境を生かした農業体験活動の取り組み～

はじめに

○熊本県と境を有する中山間地域 約570戸

農産物…キウイ・みかん・梅・たけのこ

○児童数80名（平成19年度）

○豊かな教育環境

・学校環境「すくすく山」…タケノコ・キウイ・シイタケ・くり・クヌギ・野菜

「なかよし田んぼ」…もち米・うるち米・さつまいも

・地域環境

人材…農業従事者（専門性） 竹・キウイや梅栽培の指導員（専門家・JA）

JA青年部（米作り） 白木地区地域振興会議

夢あいグループ（JA女性部を母体とした組織で地産地消の食提供活動）

読み聞かせボランティア（地域のおばあちゃん）

西日本短期大学附属高校演劇部・野球部及びOBのみなさん

各学年の学習支援者（おじいちゃん・おばあちゃん・PTA等）他

施設…・夢たちばなビレッジ（遠足・通学合宿）

・大道谷の里…農家民泊施設（料理教室・かごづくり指導）

・大内邸（社会科学習）

・森の里在宅介護支援センター（4年生総合的な学習・行事での交流）

こと…・白木の秋の収穫祭（15年度より実施 学校中心から…地域活動へ移行中）

・しらきアンビシャス広場（独楽まわし・自然体験活動・おばあちゃんの知恵袋
森の里ボランティア活動 など）

・通学合宿（56年生対象）

・白木スポーツフェスティバル

・もみじ太鼓（親子）

等

1 児童の実態

○素朴

○欠席児童が多い（14年度～15年度）

欠席者	14年度	15年度
延べ人数	527名	364名

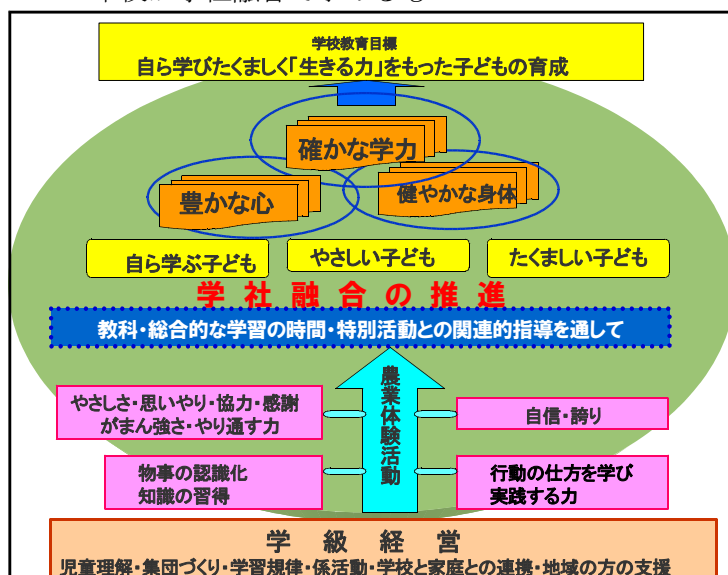
（忌引き・出停は除く）

○表現力が乏しい（学力の低迷・あいさつや言葉づかい・掃除）

楽しい学校づくり

学力の向上

2 本校が学社融合で求めるもの



なぜ、農業体験活動なのか・・・

農業体験には、

- ①主体的な活動が期待できる、
- ②異世代間の交流ができる
- ③専門性を持った指導者との出会い
- ④活動に広がりがある
- ⑤地域を再確認できる
- ⑥今問われている食育とのつながり など

15年度のスタート当初は、「とにかくやってみよう！」ということで、取り組みました。しかし、誰に、どんな活動をお願いしたらいいのか・・・見当もつきませんでした。そんなとき、リーダーシップをとって、活動を支えてくださったのは校長先生でした。地域へ出かけ人脈を広げたり、授業への取り入れ方などノウハウを発揮して支えてくださいました。

3 学社融合の内容

学校教育支援型 学校が中心となる内容	生活・総合的な学習の時間の農業体験活動、 芸術鑑賞会、実り発表会 学校行事（筍堀・サツマイモ栽培・田植え・稲刈り） 等 朝の読書…読み聞かせ
社会教育支援型 地域が中心となる内容	通学合宿 しらきアンビシャス広場 あそびの達人 in たちばな（16・17年度） 白木スポーツフェスティバル
生涯学習教育支援型 お互いが協力して実施する内容	白木の秋の収穫祭 遊びの広場 西日本短期大学附属高校「演劇部」「野球部」との交流

4 本校の学社融合のあゆみ

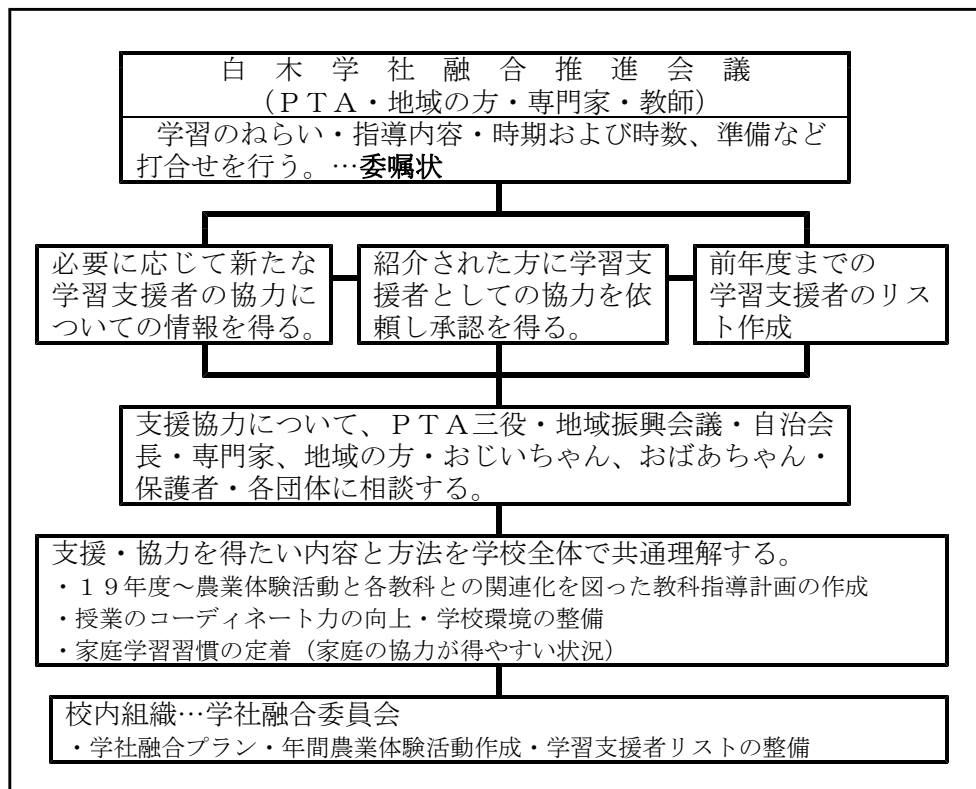
15年度	・学社融合ってなんだろう…研修 ・まずはやってみよう！農業体験活動 ・収穫祭実施 ・他の組織・団体との連携
16年度	・組織づくり・・・「白木学社融合推進会議」設置 ・総合的な学習の時間における農業体験活動の位置づけ ・学年別農業体験活動の年間計画の作成 ・「白木の秋の収穫祭」…PTAの協力
17年度	・総合的な学習の時間における農業体験活動の充実 ・他教科との関連化を図る取り組み ・学習支援者を依頼するときの諸問題への対応 ・「白木の秋の収穫祭」…収穫祭実行委員会の立ち上げ
18年度	・農業体験活動と教科との関連化を図った授業の改善 ・学習支援者の広がり ・学校環境の整備 ・「白木の秋の収穫祭」…福岡県アンビシャス・白木地区地域振興会議・立花町
19年度	・農業体験活動の精選（活動内容の見直し、時数の設定・見直し） ・教科との関連が見える年間教科指導計画の作成 ・「白木の秋の収穫祭」…福岡県アンビシャス・白木地区地域振興会議・立花町 ・家庭学習習慣の定着を図る取り組み ・地域の方による朝の読み聞かせの位置づけ

5 実践の様子

（1）学校教育支援型

① 組織づくり

学習支援体制を整えるための組織作りに取り組みました。最初は、学校全体としては、PTA三役さん、自治会長さんなどに相談しました。学級では、クラスのおじいちゃん・おばあちゃんに呼びかけました。学習支援者には、委嘱状をお渡しして、一年間、農業体験活動の学習支援と日々の子ども達の見守りをお願いしています。



② 授業の様子

○ 1年生「めざせ、あそびの達人！」合科（生活科・国語科）

右は1年生の合科の学習です。1年間を通して「遊び名人」のおばあちゃんに学習支援者として来ていただき、一緒に学習しました。子どもたちは、遊びの知恵を学ぶと同時に、おばあちゃんたちとのふれあいの中で、表現力を高めていきました。

単元構成

つかむ もしもしおばあちゃん…すくすく山を探検して、知っている虫や草花を見つけよう。

虫をつかまえないな
虫のクイズをつきたいな
葉っぱであそびたいな
学校みんなに教えたいな

虫取り 草花つみ お面を作ったよ

追求する おばあちゃんにチャレンジ…すくすく山の虫や草花で遊ぼう。

もしもしおばあちゃん あそびの達人 ね おばあちゃんにチャレンジ

ひろげる すくすく山お知らせ会をしよう。

あそびのクリエイター 「てがみまがこう」 「すくすく山っておどおどお知らせ会」

○ 6年生・総合的な学習
「竹の循環型社会を考える」

単元構成 1年生との竹遊び、農協への竹の出荷を通して学習課題をつくる

つかむ 体験活動1 学習課題づくり

竹遊び 出荷（サイズの選定） フェビング制作

・竹や筍は、私たちの生活とどのように結びついているのだろうか。「食」「環境」「産業」などの観点から調べてみよう。

追求する 自分の課題をフィールドワークや体験活動等を通して追求する

インタビュー記録 ポスターセッション1 体験活動2 ポスターセッション2

ひろげる 竹の循環型社会としての可能性を報告する

ホームページを開発する 実行発表会で地場産を啓発する 広報活動をする

6年生は「竹」というテーマを、1年生の「すくすく山」の学習とつなげて、総合的な学習の時間に取り組んだ。自分たちの生活と竹の関わりを、食・環境・産業の観点から調べ、フィールドワークや体験活動を通して追求し、最終的に「竹の循環型社会としての可能性」を報告する。この学習を通して、子どもたちは竹の価値を深く理解し、地域社会への貢献意識を育んだ。

本校では、農業体験活動を各学年の学習に位置づけています。下の写真は、3年生「キウイ作り」、4年生「梅干し作り」、5年生「米作り」の様子です。それぞれの学年で、この体験活動を活かして子どもの表現力の向上をねらった学習を工夫しています。

3年生「キウイ作り」



4年生「梅干し作り」



5年生「米作り」



(2) 社会教育支援型

【通学合宿】



【しらきアンビシャス広場】



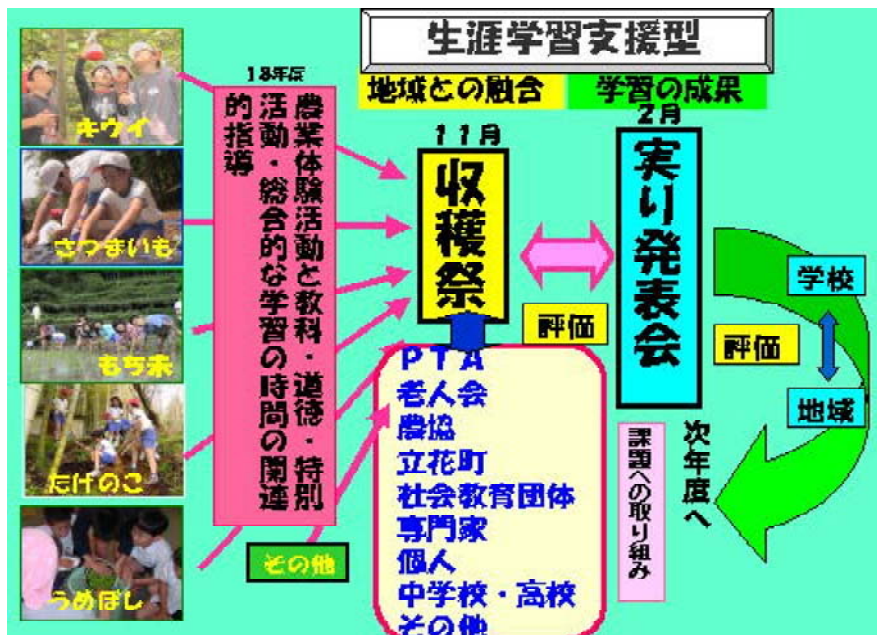
【あそびの達人】



○通学合宿には職員も関わり、子どもの活動を見守っています。
○しらきアンビシャス広場は、18年度福岡県知事賞を受賞しました。和ごま、おばあちゃんの恵袋、自然体験、他地域との交流、老人介護施設でボランティア活動などに取り組んでいます。
○もみじ太鼓は結成3年目です。毎週月曜日に親子で練習を行い、各場所で発表を行っています。

(3) 生涯学習支援型

② 白木の秋の収穫祭



11月の収穫祭と2月の実り発表会を農業体験活動の集大成として捉えています。

15年度のスタート時点では、学校が中心となって企画し、地域を取り込んでいった収穫祭ですが、地域も学校も変わるきっかけとなる重要な活動だったと認識しています。

学校支援型の収穫祭から2年間の活動を経て、3年目には地域で実行委員会が立ち上がりました。企画・運営・準備など、学校のノウハウを地域に移行し、生涯型の収穫祭に変わりました。



【竹太鼓】



【よさこいソーラン大会】



【食バザー】

18年度 【収穫祭プログラム】

午 前	午 後
1 開会式 2 学校発表 (1) みこし (2) 創作リズム太鼓(3・4年生) (3) 八木節(5・6年) (4) 全校群読 ・江戸囃子(全校) ・しらきソーラン 他 3 アンビシャスステージⅠ (地域の方の発表)	4 アンビシャスステージⅡ (1) 地域の方の発表 ・西短大附属高校 ・ダンス・ダンス・ダンス (2) よさこいソーラン大会 ・小学生 ・小中連合チーム ・華夢翔 ・YOSAKOI撫子 ・ちっこ絆 (全部で8団体)

食
バ
ザ
ー

プログラムは、午前は、学校の発表を中心に行いました。午後は、子ども達も食バザーにも参加し、梅干しやキウイの販売を行いました。
また、よさこいソーランは、15年度から取り組んでいます。よさこいソーラン大会は18年度、初めての取り組みですが、ますます地域が元氣になりました。

【保護者アンケートについて】

○ 農業体験活動について ○ 収穫祭の協力について

たいへんよい	36%	支援できる	38%
よい	49%	支援したい	44%
どちらでもない	11%	できない	0%
他の取組みがよい	4%	分からない	18%
やめる	0%		

○農業体験活動は白木でしかできない活動。続けてほしい。学校と地域交流の一助になっている。
○子ども達が心待ちにしている。
○農業体験については、体験することが少ないので、体験することの大変さ、収穫したときの喜び、感謝の心など感じ取ることは大変いいこと。地域の方の協力のもと体験できることに感謝している。これからも続けてほしい。
○農業体験活動はよいことだ。白木小には、不登校児童がいないことや素直な子ども達をみると本当に学校が楽しい所なんだと思う。

他

【児童作文】

☆ 楽しかった収穫祭
3年 A児

11月25日に収穫祭がありました。わたしが頑張ったことは、竹太鼓です。毎日練習して、みんなで成功できてとってもうれしかったです。
次に嬉しかったことは、キウイの販売です。全部売れるか分からなくて気になっていたけど、最後に全部売れたので、とってもうれしかったです。

☆ しゅうかくさい
2年 K児

さいしよに、わたしたちは、みこしをかつぎました。
ちいきの方の発表では、5アローズの演奏が体育館いっぱいにひびいたからすごかったです。お昼は大きなステージで、キッズソーランやアイダを踊りました。ちょっと恥ずかしかったけど、来年も大きなステージで演技をしたいです。

☆ 楽しかった収穫祭
5年 H児

私がこの収穫祭で一番頑張ったことは、群読と5年生の発表です。群読では、大きな声が出るように頑張りました。「八木節」の時は、先生の指揮をみて、みんなと合うようにしました。
.....略.....
よさこいソーランでは、練習の時は間違える事もあったけれど本番では間違わずに出てよかったです。他の団体の「黒田武士」がすごかったです。私達も上手におどれるように頑張りたいと思います。

② 遊びの広場【毎月第火曜日昼休み】



【すごろくあそび】



【生け花】

左の写真は、昔遊びや生け花をおばあちゃん達と一緒にしているところです。学校の空き教室の「ゆうゆうランド」を地域に開放しています。地域のお年寄りが自由にこれら、昔遊びや読み聞かせなどを通して子どもたちと一緒に昼休みの一時を過ごされます。子どもたちも楽しみにしています。

6 成果と課題

(1) 農業体験活動の取り組みで、学校・家庭・地域が変わってきている.....

家庭・地域

○家庭・地域の中に連帯感が生まれた
・地域ぐるみであいさつ
・会話（コミュニケーション）
○農業の厳しさだけでなく楽しさを抱くようになった
○地域 みんなが子育てに関わる

学校

○欠席児童の減少（割合...50%減）
○学習意欲の向上（学力の伸び）
○大きな声であいさつ・言葉づかいの改善
○地域の方とのコミュニケーション...表情が明るくなった
○学校がきれいになった

学習支援者

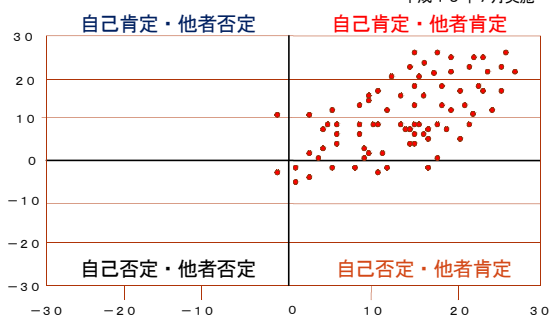
○元気になった（子ども達に会うので元気でいなければ...）
○学校の敷居が低くなった...学校への期待・信頼感
○でしゃばらない...自分の役割・分担
○学習支援者の役割...技能面・子どもとの接し方が上手
○学習支援者が次の学習支援者を育てる

教師も変わった！

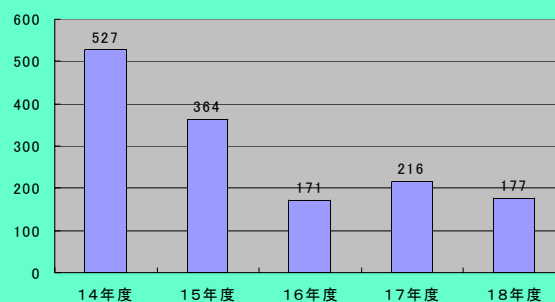
○限られた時間数の中で、どんな内容を実施するか精選し、授業の内容を工夫するようになった。
○学習支援者との連絡を早めに行い、実施時期を逃さないようになった
○地域の方と進んで挨拶を交わし、コミュニケーションがとれるようになった。
○教師間での情報の交換・相談し合うことが増えた。
○地域の行事や活動に顔を出し、地域とつながるようになってきている。

自己他者肯定感テスト

平成19年7月実施



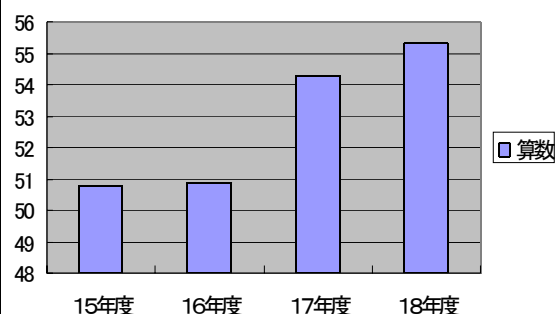
欠席者数の推移



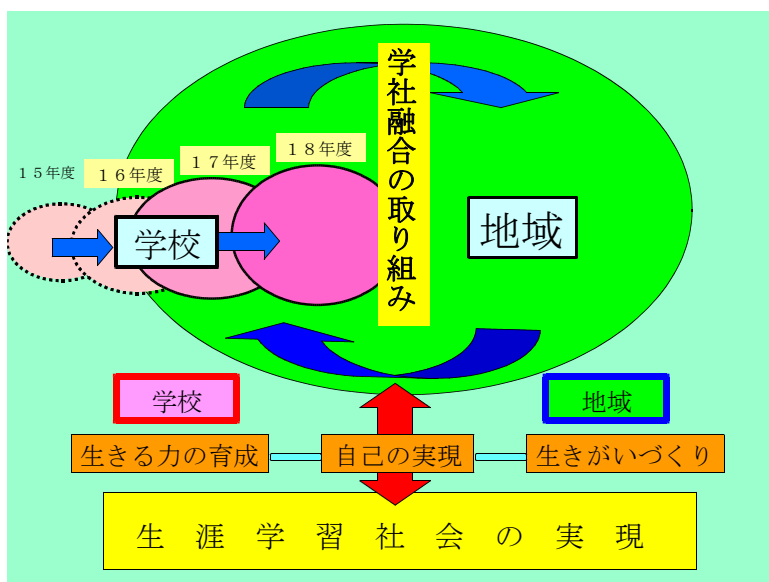
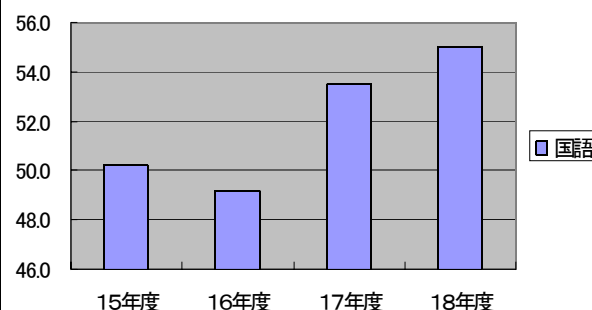
※ 忌引き・出席停止は除く

○ 学力の推移

算数



国語



学社融合に取り組むを通して、学校は地域と共にあるということを改めて学びました。【左図】

学社融合に取り組んだ結果、欠席児童が減少してきました。不登校気味の子どもの数も今のところいません。自己他者肯定感テストからも、ほとんどの児童が、自分に自信が持て、友達のよさにも目を向けて学校生活を送っているのがわかります。学力面において15年度・16年度は横ばい状況にあったのが、3年目から伸びがみられました。要因はいろいろあるとは思いますが、農業体験活動を通して豊かな心が育成された結果、学習への意欲も向上し、結果として学力がのびたのではないかと考えています。個々の学力差に目を向け、個々の学力を伸ばしていくことが今後の課題の一つでもあります。

(2) 今後の取り組みとして

- 農業体験活動と教科等との関連化を図った年間計画指導計画の充実
- 授業のコーディネート力の向上
- 白木学社融合推進会議の充実と学校の活動の公開
- 家庭学習習慣の定着（家庭の協力が得られやすい状況）